

まなぶをつなぐ

変化が激しく予測困難な社会では、自ら課題を発見し、解決のために必要な情報を集め、それらを整理・分析して、最適な解答を見だし、表現するという、自ら学ぶ力が必要です。

そして、その力を伸ばすには、学校での学びの充実に加えて、毎日の学校以外での学びの積み重ねが大切です。お家の方のあたたかい励ましの言葉や、学習しやすい環境づくりなどが、子どもにとって大きな支えとなります。子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図っていけるように、このチラシをご活用ください。

学校での学び



家庭での学び

自分の身の回りのことに興味や関心を持ち、課題を見いだしてほしい。



「自分から」学ぶ子になるために、家庭ではどのようなことを意識すればいいの？

① 声のかけ方を工夫する ～声のかけ方一つで、学ぶ意欲は左右される～

「なぜ?」「どうして?」はチャンス! どう声をかけますか?



「なぜ?」「どうして?」という疑問に寄り添ったり、「うれしい!」「くやしい!」という気持ちに共感したりすることが、子どもたちのやる気につながります。子どもたちの「こえ」を受け止め、一緒に学びを積み重ねていきましょう。

② 学習環境を整える ～子どもが一番安心できる場所だからこそできることを～

子どもが学びたいと思えるように・・・

○子どもと「対話」する時間をつくる

- ★子どもとの対話から、子どもの興味や関心を知ることができ、「学びの場」や「学びのチャンス」を作るきっかけにもなります。
(恐竜が好き→博物館に行く、図鑑を読む、化石発掘体験に行く…)
- ★「勉強しなさい」と言うだけでなく、大人が読書をしたり、趣味などを楽しんだりする姿を見せ、それを話題にして対話することも有効です。
- ★対話をしながら、子どもと一緒に活動や体験をすることも大切です。

空の色が時間によって変わるの
はなんで？

まずは、インターネットで調べてみたら？次の休日に図書館で確認しよう。



自分で考え、行動することで当事者意識を育てましょう。子どもが考えたことを見守り、励ますことも大切です。

親子で学びを共有できるように・・・

○学校での学びの進捗や理解の度合いを確認する

- ★学校で学んだことを子どもの言葉で説明してもらいましょう。誰かに説明したり、その時に考えたことを伝えたりする経験は、学習の定着や自信につながることもあります。
- ★学校で使用している学習アプリと一緒に取り組むことが、子どもの意欲を高める場合もあります。
- ★一緒にお家での学習計画を立てたり、それをいつでも見える場所に貼ったりして、進捗を共有することも効果的です。



学校で身に付けた知識が、実生活と結びつくことで、さらに別の知識と結び付き、深い学びへとつながります。様々なことを結び付けて考えることにも挑戦してみましょう。

子どもが学んだことを発揮できるように・・・

○挑戦・実践できる場や時間を作る

- ★学んだことが実生活で生きることを実感することは、次の学びへの意欲にもなります。
- ★例えば、次のようなことが考えられます。(子どもと一緒に考えてみてもよいですね。)

お願いプレゼンテーション

500円でお買い物

字幕なしで映画鑑賞

お家で調理実習

実物をスケッチ

家庭菜園で植物栽培



合わせてこちらも check★



小学1年生保護者向けリーフレット(教育局 支援部 子ども教育支援課)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/shou1ri-fu/hogoshamuke.html>

小学校入学に際しての悩みや不安を Q&A 形式で解決!相談窓口も紹介!



家庭教育ハンドブック すこやか(教育局 生涯学習部 生涯学習課)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/sukoyaka.html>

中学生という思春期の子どもの理解の仕方や家庭で大切にしたいことなどの情報を掲載!



令和6年度版 かながわの学びの充実・改善のために(教育局 支援部 子ども教育支援課) P34・35

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/123227/r6gakujobunsekikatsuyoushiryou.pdf>

意識調査と教科学力との関係を掲載!スマートフォンとの付き合い方について、子どもと一緒に考えるヒントにも!

